

# たんぱく質結晶を輸送

## 創晶と 柴又運輸 関東—大阪間で開始

創晶(大阪府吹田市、安達宏昭社長、06・6877・5659)と柴又運輸(東京都江戸川区、鈴木正博社長、03・3673・0522)は、たんぱく質結晶の輸送サービス「シバックス・クリスタル・ライン」を21日開始する。壊れやすい、たんぱく質結晶を一定温度に保ち、振動を抑えて運ぶ。柴又運輸のさいたま市—大阪府摂津市の拠点を結ぶ定期便を活用しコストを抑える。創晶は製薬会社からのたんぱく質結晶化受託など創業支援事業拡大につなげる。柴又運輸の定期便は、毎日18時にそれぞれの拠点を発。例えば、創晶が結晶を作製し大阪から定期便で顧客に結晶を送ると翌日の午前中に送ると翌日の午前中には関東圏、静岡県の顧客に結晶が届く。関東圏の顧客から創晶に発送する場合同翌日の午前中には着く。平日毎日の発送・集荷が可能。価格は片道3万1500円から。月間で4件以上の利用を見込んでいる。結晶は結晶作製時に用いるプレート発泡スチロールの容器に入れて、その容器をインキュベーター(恒温器)に保管。インキュベーターごとトラックの助手席に積み、温度を一定に保つほか、振動を抑えて輸送する。柴又運輸社員による輸送により気密保持、品質管理記録などで信頼性を高める。人手による輸送に比べても温度管理、振動、コ

スト面でも有利になる。たんぱく質結晶はたんぱく質の形を明らかにするX線結晶構造解析に用いる。製薬会社は薬の標的となるたんぱく質の構造をもとに、医薬候補化合物の開発につなげている。